

大隅振興局建設部

### 災害支援・感謝状贈呈式

## 3団体の功績称える

県大隅地域振興局建設部(八木章久部長)は24日、災害支援に関する協定に基づき多大な貢献の

あつた県建設業協会曾於支部(上集孝一支部長)、県測量設計業協会(安永幸信会長)、NPO法人鹿児島砂防ボランティア協会(前原幸夫理事長)の3団体に感謝状を贈り、その功績をたたえた。

感謝状は、6月28日から7月3日の梅雨前線豪雨により、広範囲に甚大な災害が発生したことから、曾於市駐在管内一円で大規模災害時における被害



状況調査等や応急対策等の支援協力を要請。被災した公共土木施設等の応急対策などへの多大な貢献に対して贈られたもの。管内で190件発生し、このうち曾於市管内では146件の災害が報告された。曾於市の同局曾於庁舎であつた贈呈式では、八木部長から上集支部長、安永会長、前原理事長に感謝状を手渡し、台風災害に尽力した功績をたたえた(写真)。

八木部長は「地域に精通した各団体会員がいち早く駆け付け、支援活動を行い住民の安心安全が確保されたことは極めて重要。地元住民にとつても建設業の社会的役割がいかに大きなものであるか再認識されたのでは」と謝辞を寄せた。これを受け、上集支部

長は「どこで何が発生するか分からない状況。今後、迅速な対応ができるよう心掛けたい」、前原理事長も「今後も地域住民の安全に貢献できるように活動したい」と、それぞれ抱負を語った。